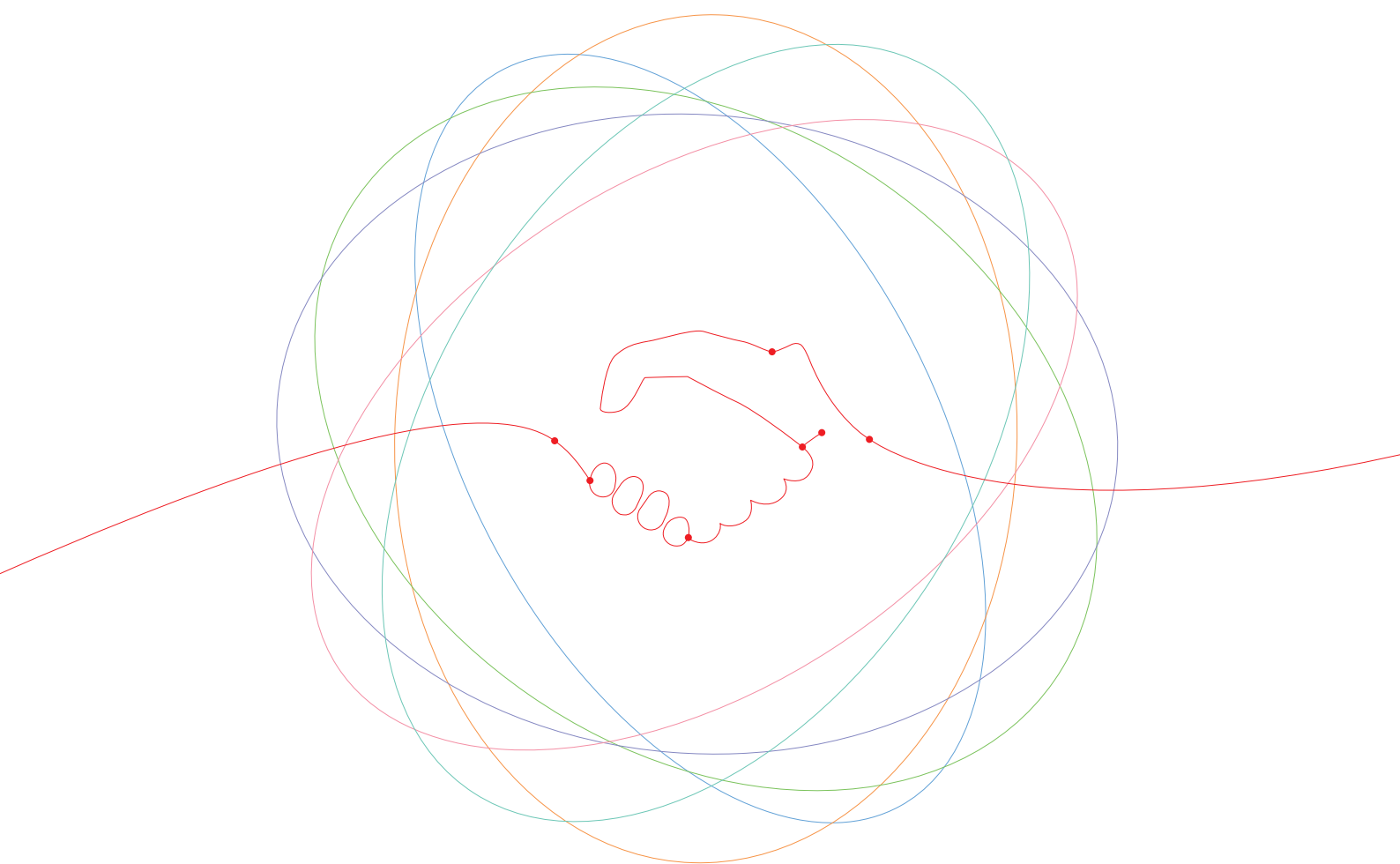




KOKUBU SDGs STATEMENT



SDGsステートメント

“ 300年間紡いだ商いを、次世代に繋げていく。
私たちは食を通じて世界の人々の幸せと笑顔を創造します。 ”

1712年の創業以来、国分グループは300余年にわたり食の文化を紡いできました。

社会情勢やライフスタイルの変化、自然災害など事業の継続が危ぶまれた出来事も数多くありました。

しかし、先人たちはいかなる困難にも事業継続の強い意志と対応力により、食のサステナビリティを追求し、
現在へとその経験を繋ぎました。

私たちはこのDNAを、次の世代へと継承していかなければなりません。

食を通じて、世界中の人々が心から笑顔になり、幸せになる。そんな社会を創っていきます。

私たちの重要事項(マテリアリティ)

● 地球環境 ● 食糧生産 ● サプライチェーン ● マーケティング ● 生活者 ● 人財

SDGsステートメント実現のために選定した6つのテーマ。それぞれに対して「行動基本方針」と「達成目標」を
決めました。これらは私たちが結節点となり、様々なパートナーシップを築くことで実現していきます。

ステートメントに込めた想い

世界を変えるための17の目標
「SDGs～持続可能な成長目標～」

2019年9月、この壮大な目標達成のため、私たちは
プロジェクトチームを立ち上げました。

創りたい世界、そのために私たちができること、また、
なすべきことを約1年にわたり討議を重ね、6つの重要
事項を決定しました。これらは未来へと繋いでいかな
ければならない重要事項です。

6つの重要事項

ここに掲げる「重要事項」を、私たちのビジネスの根幹
にある「食」で解決するために、それぞれ「行動基本方針」
と「達成目標」を決めました。

私たちの強みや弱み、リスクと機会、さらにステーク
ホルダーからのご要望・期待など、あらゆる要素や
情報を整理・分析し、SDGsの169ターゲットすべてに
対し事業化の可能性を検討し、30ターゲットに絞りこみ

ました。SDGsターゲットへ直接アプローチすること
により、活動を明確にし、掲げた目標の達成のため様々
な行動を起こしていきます。

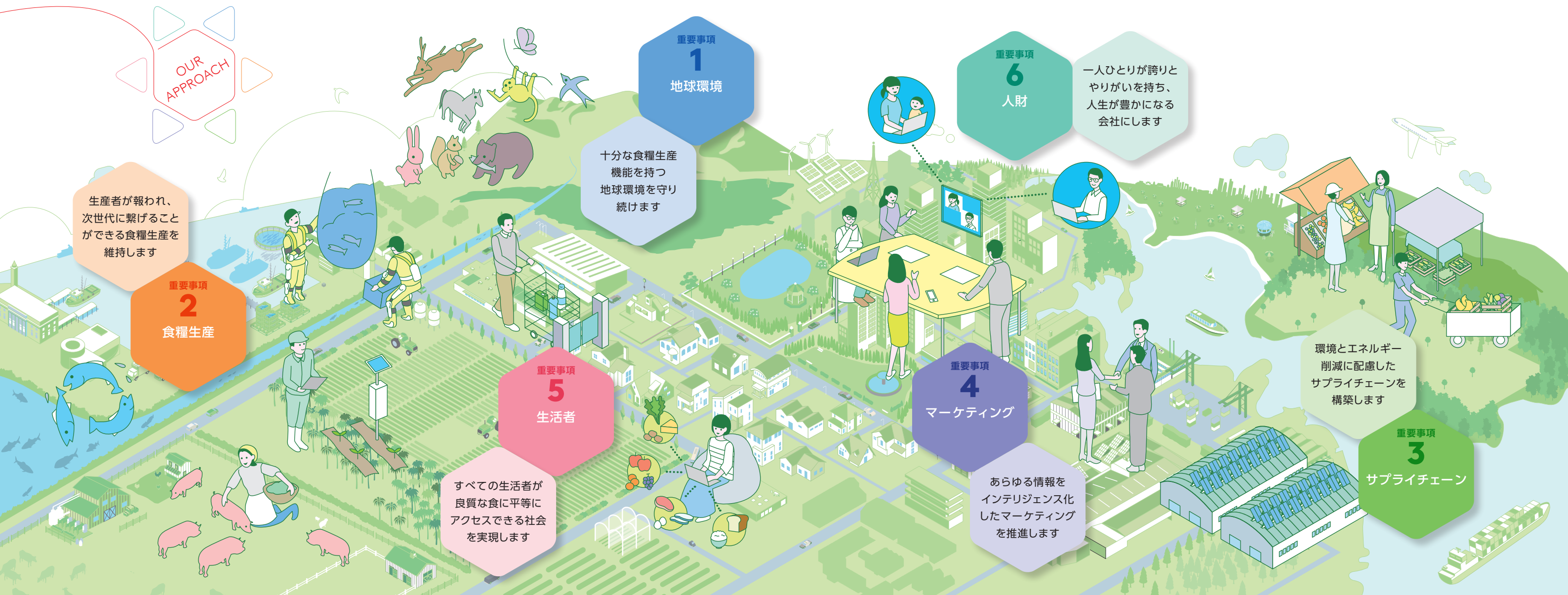
最も重要な要素であるパートナーシップ

「達成目標」は、私たちだけでは達成できません。卸売業
という流通での立ち位置を最大限に活かし、生産者から
生活者までの結節点となり、あらゆる場所やシーンで、
サプライチェーン・コンソリデート機能を発揮していき
ます。そして、様々なパートナーと手を携え共通の目標
に向かって進んでいきます。

世界を変えるための私たちの目標

私たちは「重要事項」「行動基本方針」「達成目標」へ
常に向き合い、皆様とともに世界の人々の幸せと笑顔
を創る「食」を未来へ繋いでいきます。

SDGs戦略策定プロジェクトメンバー 一同



行動基本方針・達成目標



- 方針** 十分な食糧生産機能を持つ地球環境を守り続けます
- 目標** あらゆる資源を健全に利用し、再生産可能な地球環境を実現する
- 様々なお客様へお届けする「食」。源となる農産物・水産物・畜産物から、加工食品、容器包装、物流のための資源・エネルギーに至るまで地球の恵みに支えられています。私たちは、これら地球の恵みが途切れることなく、未来に引き継がれるよう持続可能な資源の利用を実践し、再生産可能な地球環境の実現に向け取り組みます。

貢献するSDGsターゲット

- 8.4** 2030年までに、消費と生産における資源効率を漸進的に改善させ、環境負荷を減らすと同時に経済成長を実現する。
- 12.2** 2030年までに、天然資源の持続可能な管理と効率的な利用を達成する。
- 12.4** 製品ライフサイクルを通じて化学物質や廃棄物の排出を大幅に削減し、健康や環境への悪影響を最小化する。
- 14.4** 乱獲や違法な漁獲を規制し、水産資源を持続的生産量のレベルまで回復させる。
- 15.4** 2030年までに、生物多様性を含む山地生態系を保全し、持続可能な開発に不可欠な便益をもたらす能力を強化する。



プラスチックをはじめとする「食品容器の完全循環システム」
使い捨てていたテイクアウト容器などの食品包材を、完全循環させるシステム



- 方針** 生産者が報われ、次世代に繋げることができる食糧生産を維持します
- 目標** 持続可能な食糧生産を支援し、生産に関わるすべての人が適正な対価を得ることができる世界を創る
- 大地を耕し、海と共存し、生き物を大切に育み得られる食糧。それは、生産者一人ひとりの額に汗した働きにより実る宝物です。私たちは、その努力と労働に適正な対価を支払い、変わることなく食糧生産が続けられ、倫理的な労働環境が守られるように関与し、流通業としての使命を果たします。

貢献するSDGsターゲット

- 2.4** 2030年までに、持続可能で生産性の高い食糧生産システムの確保とともに、生態系を維持して土壌の漸進的改良を促し、災害等への適応能力向上を図り、強靱な農業を実践する。
- 8.1** 一人当たり経済成長率を持続させ、特に後発開発途上国は少なくとも年率7%の成長率を保つ。
- 8.5** 2030年までに、差別のない雇用や働きがいのある人間らしい仕事、同一労働同一賃金を達成する。
- 8.7** 強制労働、現代奴隷制、人身売買を根絶し、2025年までにあらゆる形態の児童労働を撲滅する。
- 14.4** 乱獲や違法な漁獲を規制し、水産資源を持続的生産量のレベルまで回復させる。



生産者を応援する「サステナブルな流通」の拡大
持続可能な生産活動を続けられるサステナブルな流通と市場の創造



- 方針** 環境とエネルギー削減に配慮したサプライチェーンを構築します
- 目標** サプライチェーン全体での脱炭素化と廃棄物の削減に取り組み、持続可能なインフラ機能を構築する
- 気候変動を緩和するための脱炭素化への取り組み、食品ロスをはじめとした廃棄物の削減はサプライチェーン全体の連携なくして実現できません。私たちは、食を通してすべての皆様とともにこれらの課題解決に積極的に取り組み、社会インフラを支える企業としての責任を果たします。

貢献するSDGsターゲット

- 7.2** 2030年までに、再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。
- 7.3** 2030年までに、エネルギー効率の改善率を倍増させる。
- 9.4** 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術・生産プロセスの導入拡大により、持続可能性を向上させる。
- 11.6** 2030年までに、大気汚染や廃棄物排出の管理を徹底し、都市への悪影響を軽減する。
- 12.3** 2030年までに、食料廃棄を半減させ、生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる。
- 12.5** 2030年までに、3Rの実践により廃棄物の発生を大幅に削減する。



製配販を繋ぐ「流通プラットフォーム」
すべてのお取引先様の在庫データを連携させたプラットフォームによる最適流通

重要事項
4
マーケティング

方針 あらゆる情報をインテリジェンス化したマーケティングを推進します

目標 バリューチェーンの効率化を図り、鮮度が高く有益化した情報で新たな価値を創造し、生産者から消費者まですべての人々の豊かな生活を実現する

私たちの使命は、商品とともに「生産者の想い」を運び、そこに新たな価値を加えて世界中の人々にお届けすることです。情報を読み解き、価値を高めイノベーションを通じて、より良い商品やサービスを効率よく生活者に届ける。このマーケティング活動により、私たちはすべての人々の豊かなくらしを実現します。

貢献するSDGsターゲット

- 8.3** 雇用創出、起業、イノベーションを支援するとともに、金融サービスへのアクセス改善などを通じて中小零細企業の設立や成長を奨励する。
- 8.9** 2030年までに、雇用創出、地方の文化振興・産品販促に繋がる持続可能な観光業を促進する。
- 12.3** 2030年までに、食料廃棄を半減させ、生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる。
- 12.8** 2030年までに、すべての人が持続可能な開発や自然と調和したライフスタイルの意識を持つようにする。



生産者の想いをリアルに伝える「体験の場」
作る喜びと食べる楽しさで食の価値を見出せるような体験会

重要事項
5
生活者

方針 すべての生活者が良質な食に平等にアクセスできる社会を実現します

目標 あらゆる変化に対応し、すべての生活者が健康的で豊かな食を得られるサプライチェーンを構築する

「食」は、世界中すべての人々が必要とし、身体と心の健康を保つ大切な要素です。気候変動や自然災害、その他のいかなる事象によっても、食の供給が止まることがあってはなりません。私たちは、ライフラインとしての「食」の重要性を理解し強靱な食のサプライチェーンを構築するとともに、社会的立場や経済的な状況にかかわらず、すべての生活者が健康的で豊かな食にアクセスできる社会の実現を目指します。

貢献するSDGsターゲット

- 1.5** 2030年までに、貧困層や脆弱層の強靱性を構築し、気候関連災害や経済、社会、環境的ショックへの被害を軽減する。
- 2.1** 2030年までに、飢餓を撲滅し、貧困層や脆弱層を含むすべての人が安全で栄養のある食糧を十分得られるようにする。
- 2.2** 2025年までに、5歳未満児の発育阻害・衰弱に関する国際目標を達成する、2030年までに、栄養不良を解消し、若年女子、妊産婦、高齢者の栄養ニーズに対処する。
- 3.4** 2030年までに、予防や治療を通じて非感染性疾患による若年死亡率を1/3減少させ、精神保健や福祉を促進する。
- 9.1** すべての人が安価にアクセスできる持続可能で強靱な地域・越境インフラ開発により、経済発展と福祉を支援する。
- 13.1** 気候関連災害や自然災害に対する強靱性と適応能力を強化する。



場所や状況にとらわれない「快適買い物サービス」
いつでもどこでも誰もが平等にアクセスできる食のインフラ

重要事項
6
人財

方針 一人ひとりが誇りとやりがいを持ち、人生が豊かになる会社にしす

目標 ダイバーシティを実現し、すべての人が“ワクワク”しながら能力を発揮でき、個人のやりがいが企業の成長につながる会社にする
行動基本方針1～5の目標達成を支えるのは、国分グループで働くすべての従業員=人財です。私たちは、年齢、性別、国籍、障がいなど多様な個性を認めあい、人生のあらゆるステージにおいて最大限能力を発揮できる場を提供するための基盤を構築していきます。ワクワク感を持ち日々の仕事を進め、その成果が人と会社の成長につながる。相互の好循環をもって、持続可能な社会の実現を支えます。

貢献するSDGsターゲット

- 4.4** 2030年までに、働きがいのある人間らしい仕事や起業に必要な技術的・職業的スキルを備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。
- 4.7** 2030年までに、すべての学習者が持続可能な開発のための知識や技能を習得できるようにする。
- 5.1** すべての女性や女児に対する、あらゆる形態の差別を撤廃する。
- 5.4** 公共サービス、インフラ、社会保障の提供、家族内での責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。
- 5.5** 政治、経済、公共分野での意思決定において、女性参画や平等なリーダーシップの機会を確保する。
- 8.1** 一人当たり経済成長率を持続させ、特に後発開発途上国は少なくとも年率7%の成長率を保つ。
- 8.5** 2030年までに、差別のない雇用や働きがいのある人間らしい仕事、同一労働同一賃金を達成する。
- 10.2** 2030年までに、いかなる差別もなく、すべての人のエンパワーメントを促進する。



多様な人財が活躍でき、従業員一人ひとりが主役の場の実現
それぞれの価値観や個性を認めあい、多様な働き方を受容し、最大限能力を発揮できる場

トップコミットメント



国分の創業は1712年、第4代國分勘兵衛が現在の三重県松阪市射和より江戸に出て醤油の醸造販売を行い、「食」の商いを始めました。令和の今日まで、社是である「信用」を全従業員が心に刻み、お客様への想いを一つ一つ大切に積み上げ、変化する社会情勢を掴み、お取引先様のご要望にお応えできるよう努めてまいりました。近年、気候危機、パンデミック、貧困や格差等、様々な問題が世界中で起こり、まさに時代の転換期に直面しております。環境・社会・経済に同時に取り組むSDGsの目標達成を1日も早く実現しなければなりません。

国分には「継続する心・革新する力」の企業理念があり、「継続する心」は300余年の紡いできた商いの心と「信用」であり、「革新する力」はSDGsを通じた課題解決そのものであると確信いたします。

「食」を通じて、世界中の人々が心から笑顔になれるよう、ここに掲げた6つの重要事項を多くの皆様とともに取り組んでまいります。

代表取締役会長 兼 CEO 國分 勘兵衛

私たちは長い歴史の中で、醤油の醸造販売から卸売業への事業転換、社会情勢の変化への対応や社会課題への取り組みなど、事業を存続し成長させるため、様々な施策を行ってきました。

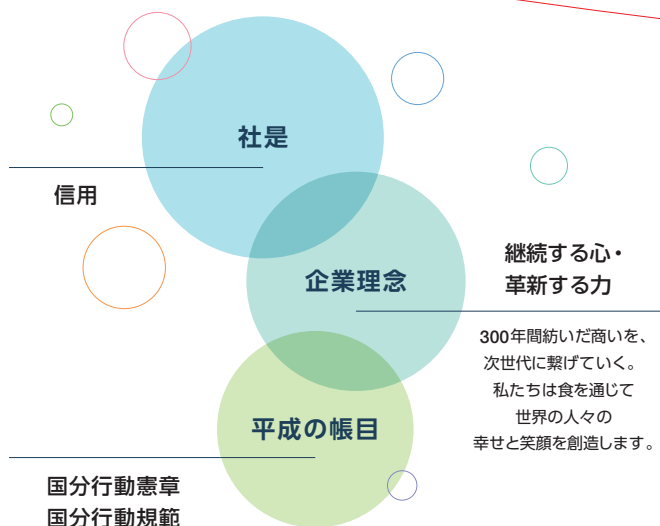
2015年、国連にて採択されたSDGs～持続可能な成長目標～は、まさに国分グループが目指す経営理念と一致するものとの思いを強くいたしております。

私たちは行動を明確にするため、企業理念「継続する心・革新する力」のサブワードをSDGsステートメントに置き換え、経営に統合させることから始めます。

また、経営計画にステートメントの達成目標を織り込み、すべての従業員が経営課題として認識し、活動できる体制を整えます。

6つの重要事項は、社会の持続可能性とともに、国分グループの持続的成長に欠かせないテーマです。真摯に向き合い、SDGsステートメント実現のため、様々な施策を加速させてまいります。

代表取締役社長執行役員 経営統括本部長 兼 COO 國分 晃



ロードマップ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

- フェーズ3(2021年1月～)
アクションプランとPDCAの実行
- フェーズ2(2020年4月～12月)
KPI・アクションプランの策定
- フェーズ1(2019年9月～2020年3月)
SDGsステートメントの策定



お問い合わせ

国分グループ本社株式会社
経営企画部

TEL: 03-3276-4121 FAX: 03-3273-7305

URL: <https://www.kokubu.co.jp>



Printed in Japan